

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12320	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	休日急病医科診療事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第2施策	救急医療体制の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

休日急病医科診療所運営費補助金交付要綱
---------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
休日における市民の急病に対する医療の確保を図るため、相模原メディカルセンター及び相模原南メディカルセンターで急病診療を実施する事業に対し、助成している。	市民全般
	対象数 616,439人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
休日(日曜日・祝祭日・年末年始)における初期救急医療機関の確保を行った。 ・相模原メディカルセンター 診療日数 72日、診療科目 内科・外科 診療時間9:00～17:00、受診者数 5,768人 ・相模原南メディカルセンター 診療日数 72日、診療科目 内科・外科・眼科・耳鼻咽喉科 診療時間9:00～17:00、受診者数 6,819人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	患者数(人)	受診者合計	患者実績により、成果指標とする	12	13	14	15	16
				14,641	12,542	12,587		
活動指標	開設率(%)	開設日/開設予定日×100	開設率により事業の達成状況をみる	100	100	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
		123,285	134,529	188,494	193,253	193,253
	人員・時間数	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年
	人件費	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	125,685	136,929	190,894	195,653	195,653
	特定財源	1,019	1,214	1,212	1,139	1,139
	対象数	607,293	612,605	616,439		
	対象の単位あたり経費	0.2	0.2	0.3	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	説明		休日における救急医療は、市民が安心して生活していく上で、必須なものであるため十分達成できていると考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 休日における急病患者のための初期救急医療機関の確保であるため、必要性はあると考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない	説明	急病事業全般を実施していく上では休日における急病事業は有効的な事業であると考えている。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 事業の性格上費用対効果をはかることは難しいと考えるが、効率性は十分あると考えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
	説明		市民全般に対する急病事業であるため、公平性は十分保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 今後とも、両メディカルセンターを利用する患者は増加すると思われるため、更なる向上の余地はあると考えている。	手段	事業費削減のため、今後とも医療関係団体と効率的な事業体制を構築していきたい。
		削減額	千円

11 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
	県下のほとんどの自治体で本市と同様な体制での休日急病医科診療事業は実施している。	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 休日急病医科診療事業は、休日における急病患者に対する医療の確保を図ることから、今後とも事業の充実を図っていく必要があると考えている。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

積算単価の見直しを行っていくこと
------------------